



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東
 コード番号 3687 URL <https://www.fixstars.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績 (2022年10月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	3,566	18.3	998	14.9	992	14.3	653	22.0
2022年9月期第2四半期	3,014	9.2	868	86.2	868	89.2	535	99.7

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 654百万円 (10.2%) 2022年9月期第2四半期 594百万円 (104.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	20.33	—
2022年9月期第2四半期	16.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第2四半期	7,674	4,953	62.3	148.54
2022年9月期	8,161	4,584	54.1	137.34

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 4,779百万円 2022年9月期 4,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	15.7	2,000	23.1	2,000	18.3	1,300	20.1	40.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、株式会社Drone Autopilot Labを当第2四半期連結会計期間において設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期2Q	33,635,000株	2022年9月期	33,635,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	1,457,480株	2022年9月期	1,491,980株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期2Q	32,157,806株	2022年9月期2Q	32,440,885株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き物価高が進行する懸念はあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響からの経済・社会活動の正常化が進められ、景気は緩やかながらも持ち直しております。世界経済においては、不安定な世界情勢による資源価格高騰、米国での銀行破綻に端を発する金融危機への懸念等、先行きは不透明なものとなっております。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、コンピュータの性能を最大限に引き出し大量データの高速度処理を実現するソフトウェア及びハードウェア等を提供するとともに、これらの知見がより広く社会に活用されることを目指し、新規SaaS事業の展開を行っております。

主力のSolution事業では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が長期安定して継続しております。その他においても、高速化サービスに対する旺盛な需要を背景に、日本国内の製造業向け案件を中心として安定的な収益を獲得しております。

SaaS事業においては、量子コンピュータ向けプログラムの開発・実行プラットフォーム「Fixstars Amplify」、AIコードレビュー「Sider」、乳がんAI画像診断支援事業等の開発を進めております。

また、海外においては米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,566,846千円（前年同期比18.3%増）、営業利益998,022千円（前年同期比14.9%増）、経常利益992,284千円（前年同期比14.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益653,778千円（前年同期比22.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

①Solution事業

Semiconductorの分野では、モバイル機器やデータセンタ等で利用の進むNANDフラッシュメモリを対象として、ファームウェア及びデバイスドライバの開発等を行っております。Mobilityの分野では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発及び高速化案件や、次世代モビリティに関連する研究開発及び高速化支援を行っております。Life Scienceの分野では医療画像診断装置における高精細画像のリアルタイム処理やゲノム解析、Financeの分野ではリスク計算やHFTの高速化支援、Industrialの分野では産業機器等におけるマシンビジョンシステムの高速化支援等を提供しております。

この結果、売上高は、3,456,672千円（前年同期比16.5%増）、セグメント利益（営業利益）は、1,171,721千円（前年同期比11.2%増）となりました。

②SaaS事業

各SaaS事業において、将来の収益獲得に向けて積極的な投資・開発を行っております。

この結果、売上高は、110,173千円（前年同期比132.5%増）、セグメント損失（営業損失）は、173,698千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）185,725千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて487,266千円減少し、7,674,710千円となりました。これは、現金及び預金が742,950千円減少したこと等が主な原因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて856,359千円減少し、2,721,516千円となりました。これは、返済により長期借入金397,998千円減少したこと、未払法人税等190,945千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて369,092千円増加し、4,953,194千円となりました。これは、利益剰余金332,348千円増加したこと等が主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ742,950千円減少し、4,313,666千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は45,349千円（前年同期比93.8%減）となりました。税金等調整前四半期純利益1,011,834千円、売上債権の増加（△349,669千円）、法人税等の支払（△471,464千円）等の要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,642千円（前年同期比95.4%減）となりました。これは主に、開発機材等の有形固定資産の取得による支出（△21,003千円）、投資有価証券の売却による収入（20,250千円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は742,731千円（前年同期比1.4%減）となりました。これは主に、配当金の支払額（△320,506千円）、長期借入金の返済による支出（△397,998千円）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきましては、2022年11月11日付の「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,056,616	4,313,666
電子記録債権	4,125	3,731
売掛金	2,012,106	2,353,282
契約資産	71,965	32,917
棚卸資産	7,728	1,346
その他	52,882	82,982
流動資産合計	7,205,424	6,787,926
固定資産		
有形固定資産	351,967	298,540
無形固定資産		
その他	2,735	2,441
無形固定資産合計	2,735	2,441
投資その他の資産		
投資有価証券	69,210	137,791
繰延税金資産	189,767	112,751
敷金及び保証金	342,870	335,257
投資その他の資産合計	601,848	585,801
固定資産合計	956,552	886,783
資産合計	8,161,977	7,674,710
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,773	140,367
1年内返済予定の長期借入金	795,996	795,996
契約負債	31,308	5,324
未払法人税等	499,986	309,041
賞与引当金	251,471	76,708
その他	527,848	503,062
流動負債合計	2,282,383	1,830,500
固定負債		
長期借入金	1,289,014	891,016
その他	6,478	—
固定負債合計	1,295,492	891,016
負債合計	3,577,876	2,721,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,468	554,468
資本剰余金	543,917	554,534
利益剰余金	4,536,767	4,869,116
自己株式	△1,364,035	△1,332,493
株主資本合計	4,271,117	4,645,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	48,067
為替換算調整勘定	143,501	86,052
その他の包括利益累計額合計	143,501	134,119
非支配株主持分	169,481	173,449
純資産合計	4,584,101	4,953,194
負債純資産合計	8,161,977	7,674,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	3,014,874	3,566,846
売上原価	1,489,586	1,713,166
売上総利益	1,525,287	1,853,679
販売費及び一般管理費	656,996	855,656
営業利益	868,291	998,022
営業外収益		
受取利息	22	287
未払配当金除斥益	750	672
受取賃貸料	463	—
助成金収入	820	—
為替差益	1,279	—
その他	298	132
営業外収益合計	3,634	1,092
営業外費用		
支払利息	3,300	2,200
為替差損	—	4,596
その他	339	34
営業外費用合計	3,639	6,830
経常利益	868,286	992,284
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19,550
特別利益合計	—	19,550
特別損失		
投資有価証券評価損	9,300	—
特別損失合計	9,300	—
税金等調整前四半期純利益	858,986	1,011,834
法人税、住民税及び事業税	323,393	292,214
法人税等調整額	△12,168	55,328
法人税等合計	311,224	347,542
四半期純利益	547,761	664,292
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,044	10,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	535,717	653,778

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	547,761	664,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	48,067
為替換算調整勘定	46,642	△57,449
その他の包括利益合計	46,642	△9,382
四半期包括利益	594,403	654,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	582,359	644,396
非支配株主に係る四半期包括利益	12,044	10,513

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	858,986	1,011,834
減価償却費	70,428	74,392
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,050	△172,055
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△19,550
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,300	—
受取利息及び受取配当金	△22	△287
支払利息	3,300	2,200
為替差損益 (△は益)	△628	△6,149
売上債権の増減額 (△は増加)	△131,107	△349,669
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,032	6,382
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,488	△35,224
その他	106,868	6,753
小計	930,632	518,625
利息及び配当金の受取額	22	287
利息の支払額	△3,219	△2,099
法人税等の支払額	△192,010	△471,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	735,425	45,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,752	△21,003
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	20,250
敷金及び保証金の差入による支出	△1,313	△401
その他	△1,419	△487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,485	△1,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△397,998	△397,998
非支配株主からの払込みによる収入	120,000	—
自己株式の取得による支出	△291,600	—
配当金の支払額	△162,065	△320,506
非支配株主への配当金の支払額	△4,541	△6,545
その他	△17,352	△17,681
財務活動によるキャッシュ・フロー	△753,557	△742,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	40,485	△43,925
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,132	△742,950
現金及び現金同等物の期首残高	4,681,200	5,056,616
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,668,068	4,313,666

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	Solution事業	SaaS事業	
売上高			
一時点で移転される財	2,736,695	29,706	2,766,402
一定の期間にわたり移転される財	230,785	17,685	248,471
顧客との契約から生じる収益	2,967,481	47,392	3,014,874
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,967,481	47,392	3,014,874
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,967,481	47,392	3,014,874
セグメント利益又は損失(△)	1,054,016	△185,725	868,291

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	Solution事業	SaaS事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	3,100,886	60,371	3,161,258	—	3,161,258
一定の期間にわたり移転される財	355,785	49,801	405,587	—	405,587
顧客との契約から生じる収益	3,456,672	110,173	3,566,846	—	3,566,846
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,456,672	110,173	3,566,846	—	3,566,846
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,025	78,819	96,845	△96,845	—
計	3,474,698	188,993	3,663,691	△96,845	3,566,846
セグメント利益又は損失（△）	1,171,721	△173,698	998,022	—	998,022

(注) セグメント利益又は損失（△）の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会社組織の変更に伴い、2022年7月1日よりGENESIS事業の報告セグメントを「SaaS事業」から「Solution事業」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報及び顧客との契約から生じる収益を分解した情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。